

春学期フランス語通訳・翻訳講座 通訳ガイド準備(2次対策)

2次対策は オーラル力の強化

～日本文化をフランス語で語る
実践的なオーラル・トレーニング～

フランス語の通訳ガイドになるには、語学では日本で唯一の国家試験「通訳案内士」の資格が必要になります。本講座は、この2次試験(口頭試験)のフランス語科目に合格するための準備講座となります。日本の文化や歴史を的確にフランス語でどのように紹介するかを学び、2次試験に必要なオーラルのスキルを養います。2次試験を受験される方はもちろん、現役ガイドの方や、日本を題材にした会話練習を希望される方にもお勧めです。日仏両言語・両文化に精通するフランス人講師が本講座を担当します。



◆講座名1◆
「通訳ガイド準備(2次対策)」
担当講師：アントワーン・デュケノフ

◆開講期間◆
週1回(水曜日) 4/15～7/8 ※4/29授業あり、5/6休講
13:30～15:20 総時間数24時間 GIS-31

◆受講料◆
早期優遇¥29,900(4/6迄) 通常料金¥32,800(4/7以降)

◆受講レベル◆
仏検準1級もしくはDELF/B2程度

リール大学修士。専門はフランス語教授法。韓国の語学学校や中国の高校等で豊富なフランス語教育経験を持つ。日本語が堪能で、日本の各省庁のフランス語研修でも活躍。現在アテネ・フランセでは、総合講座、視聴覚クレディフ、聞き取り会話、書取等の講座を担当。



講師：アントワーン・デュケノフ

◆講座名2◆
「通訳ガイド準備(2次対策)」
担当講師：フランク・ミシュラン

◆開講期間◆
全4回(土曜日) 4/25, 5/16, 6/27, 7/11
16:30～18:20 総時間数8時間 GIS-64

◆受講料◆
早期優遇¥13,400(4/6迄) 通常料金¥14,700(4/7以降)

◆受講レベル◆
仏検準1級もしくはDELF/B2程度



講師：フランク・ミシュラン

パリ第IV(ソルボンヌ)大学博士。専門は近現代史。国立東洋言語文化大学DEA(日本現代史)。帝京大学経済学部専任教授。海外学士院(Académie des Sciences d'Outre-Mer)会員。豊富な語学教育経験のほか、研究員としても活躍し、第32回渋沢・クローデル賞を受賞。

※アテネ・フランセが初めての方は、入学金¥8,500が必要となります。